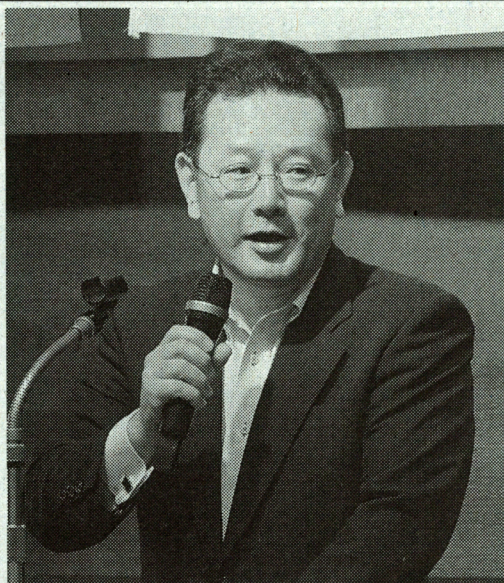


平成28年(2016年)9月20日(火曜日)

(14)



TPPについて講話する片貝氏

# 「TPP参加意義大きい」

## 釧路あすなるク例会 内閣参事官が講演

異業種の経済研修団体、  
釧路あすなるククラブ（小野  
寺英夫会長）の9月例会が  
15日、釧路センチュリーキ  
ヤッスルホテルで開かれ、  
内閣官房TPP政府対策本  
部内閣参事官の片貝敏雄氏  
が「今なぜTPPなのか」  
TPPの現状」と題し講  
演を行った。

片貝氏は、環太平洋連携  
協定（TPP）について「実  
際携わった立場」から説明

した。「12カ国が参加して  
いる多国間の協定は、いま  
ではない画期的なこと」と  
した上で「わが国は輸出大  
国ではなく、自由貿易圏に  
参加する意義は非常に大き  
い」と必要性を述べた。

また、「将来、人口減少  
などにより、日本市場は長  
期的に縮小傾向が見込まれ  
る。今まで内需で支えられ  
てきたが、その前提が変わ  
っていく。TPP参加国の  
経済規模は3100兆円  
で、世界全体の4割という  
大きなマーケット。そこに  
われわれの市場を広げて  
いくことは、今後を見据  
えて非常に大事」と話し、  
参加者は熱心に耳を傾け  
ていた。

（小西靖）